

## 平成10年度総会議事録

1. 期 日 平成10年5月21日(木)～22日(金)

2. 会 場 岩手県工業技術センター 大会議室 (岩手県盛岡市飯岡新田 3-35-2)

3. 参加者 11名(別紙の通り)

4. 内 容 [5月21日(木)]

(1) 挨拶 岩手県工業技術センターの甲田壽男所長の挨拶が行われた

(2) 前回議事録 承認

(3) 特別講演 岩手県工業技術センターの2氏により、下記の2件の特別講演が行われた。

「南部杜氏の磨いた酒造り」 岩手県工業技術センター 醸造技術部長 櫻井 廣

「鋳鉄の金型鋳造とその溶接技術」 岩手県工業技術センター 金属材料部長 川原正弘

(4) 研究発表 下記テーマについて、各機関参加者より研究発表が行われた。

(a) 「超サブゼロ処理技術の開発」 秋田県工業技術センター 進藤亮悦

(b) 「鋳鋼の複合溶接の適用性」 千葉県機械金属試験場 秋元誠司

(c) 「プラズマ窒化処理鋼の高周波焼き入れ特性」 東京都立産業技術研究所 石田直洋

(d) 「電子ビーム蒸着法によるホウ素薄膜の作製とその評価」 長野県工業試験場 牧村美加

(5) 岩手県工業技術センター見学

岩手県工業技術センター内の各部門(金属材料部、電子機械部、木工特産部、醸造技術部、食品開発部、デザイン等)の研究・試験設備等の見学が行われた。

(6) 研究計画および共同研究計画(8件)

\* 8機関の参加者より、それぞれの機関での材料関係の平成10,11年度の研究計画、平成11,12年度の共同研究計画について紹介が行われた。

\* 機械技術研究所より、当研究会企画の広域共同研究テーマを検討したい旨の提案が行われた。具体案として、放電プラズマ焼結装置を用いたプロセッシング技術又は材料技術の提案が行われ、各機関でその可能性について検討を行うことになった。後日改めて、機械技術研究所より、今回の総会の不参加の機関を含めて各機関に参加の可能性について意向調査を行うことになった。

(7) 事例研究(4件): 4機関の参加者より、技術相談およびその解決法等について事例が報告された。

(8) その他: 来年度の総会については、京都府中小企業総合センターに開催の可能性の検討を依頼していることが報告された。

(9) 交流会 岩手県工業技術センター・甲田壽男所長の挨拶の後、参加者の間で情報交換等が行われた。

[5月22日(金)(見学会)]

見学先: 地場産業振興施設「盛岡手作り村」(岩手県盛岡市繫字尾入野 64-102)

内 容: 岩手県の著名な地場産業である南部鉄器の製造工程の実地見学等が行われた。